

五ヶ瀬中等教育学校・学校自己評価表（平成21年度）

[学校経営ビジョン]

フォレストピア学習、寮教育のさらなる充実を図り、全ての教育活動を通して、基礎学力の定着と高い目標に向かって何事にも主体的に取り組む生徒の育成をめざす。その実践を通して実績に裏付けられた、より有効な指導のあり方を県下に広めていくことのできる教職員を養成する。

[重点目標と主な達成手段]

| | |
|----------|---|
| ア | 基礎学力の定着と自らの興味・関心に気付かせ、高い目標に向かって挑戦する生徒の育成 a 下位層をつくらない指導の工夫 b 「五ヶ瀬検定」の充実 c キャリアガイダンス、アカデミックガイダンスの計画的実施 |
| イ | 自主的精神に満ち、自律的に行動できる生徒の育成 a ルール遵守の徹底 b 生徒に任せる場の設定 c 保護者を巻き込んだ生徒指導 |
| ウ | 心身ともに健康な生徒の育成 a 心身の疾患の予防 b 食育の充実 c 保護者との連携による健康管理 |
| エ | より有効な指導のあり方の研究 a 六年間を見通した指導内容・方法の研究の推進 b 寮教育やフォレストピア学習の実践と研究 c 研修センター等との連携による研究の推進 |
| オ | 保護者、地域と連携した学校づくり a 保護者、地域への積極的な情報提供 b 地域の教育資源の有効活用 |
| カ | 生徒募集戦略の充実 a 広報活動の工夫・改善 b 各種大会への積極的参加 c 生徒作品の応募・投稿の促進 |

[重点目標と主な達成手段の評価]

評価はA、B、C、Dの4段階とする。

A：目標達成

B：達成状況が70%以上

C：達成状況が50%以上

D：達成状況が50%未満

| [重点目標ア] 基礎学力の定着と自らの興味・関心に気付かせ、高い目標に向かって挑戦する生徒の育成 | | | | | |
|--|--|---|---|-------|-----|
| 具体的実践 事項 | 取り組み及び実績 | | | 自己評価 | |
| | 昨年度の取り組みと実績 | 目 標 | 本年度の取り組みと現状 | 取り組み別 | 総 合 |
| a 下位層をつくらない指導の工夫 | ①温習指導等 前期生指導対象者 年度当初 26名→年度末17名 後期生指導対象者 年度当初 37名→年度末17名 新前期生レベルアップ指導を、希望者を募り個別に勉強の仕方等を指導した。 希望者 延べ140名 新指導履歴ファイルを作成 ②少人数クラスやTTを実施 より生徒の実態に合わせた習熟度別クラスの実施（下位層の指導の充実） | ①後期生温習指導では生徒の定期テストに取組む意識の向上。 ②前期生レベルアップ指導では長期的なきめ細かい指導による下位層の削減。 | ①後期生温習指導 4年 年度当初 9名 → 年度末 9名 5年 年度当初17名 → 年度末14名 新対象生徒はテスト1週間前から部活動停止とし放課後図書室で学習するようにした。1カ所に集めることで教員にとっても指導しやすい環境ができた。 ②前期生対象レベルアップ指導(対象生徒数1年11名、2年15名、14名) 新昨年度は定期テスト前に募集を行い指導したが今年度は年度内2回の募集にとどめ長期間にわたって対象生徒を指導した。テストで点数が取れたことで自信ややる気の出してきた生徒も増えた。 | B | B |

| | | | | | |
|--|---|------------------------------------|--|---|--|
| b 「五ヶ瀬検定」の充実 | ①国、社、数、理、英で実施 16回実施 延べ1080人受検 新各教科の各級の内容の一覧表作成、生徒への提示 | 昨年以上の取り組み | ①五ヶ瀬検定を国数英社理の各教科月1回の割合で実施し、年間17回実施。延べ1170名受験。 新1年間の登録制にすることより、より計画的に受検できるようにした。 | B | |
| c キャリアガイダンス、アカデミックガイダンスの計画的実施その他 | ①上位層を伸ばすための指導法の工夫の研究と実践とその共有化 ・指導力向上研修会（3回）。 新大宮高校生との学習合宿（7月実施） ・4年3回実施（春3日・ﾌｻ祭明け3日・年度末3日） 新早朝登校勉強会（担任の自主的取り組み） 新早朝上位者・下位者講習 | 実施計画の作成 | ①LHRの中に前～後期一貫の進路事業を取り入れる | C | |
| | | 4・5学年1回以上開催 | ②保護者を講師に迎えての「夢を語る会」を5・4年生で実施した。（講師 8名） | A | |
| | | 昨年以上の取り組み | ③前期生職場体験（ｲﾝﾀﾞﾞｰ）と体験発表会との間隔を狭め、帰省日に実施して保護者の参観を得た | B | |
| | | | ・「難関クラブ」発足…5・4年国数英の希望者 | B | |
| | ②勉強合宿等の実施 ・6年3回実施（夏3日・ﾌｻ祭明け3日・秋3日） ・5年2回実施（ﾌｻ祭明け3日・年度末3日） | 生徒の満足度90%以上 ※生徒の満足度調査による | ⑤勉強合宿等の実施 ・6年4回実施（夏3日・ﾌｻ祭明け3日・秋3日・冬2日） ・5年2回実施（ﾌｻ祭明け3日・年度末3日） ・4年4回実施（春3日・夏休み前3日・ﾌｻ祭明け3日・年度末3日） | A | |
| | 同上 | 同上 | ⑥GTを利用して後期生全員にリスニングを通年実施 | A | |
| | 同上 | 生徒の満足度90%以上 ※生徒の満足度調査による | ⑦寮における進路ガイダンスの実施（3月） | B | |
| 同上 | 同上 | ⑧新進路希望別学習相談会の実施（2月・3月） | B | | |
| | 前期生40名 後期生30名 | ⑨新英検受験希望者に対する個別指導 前期生35名 後期生21名 | B | | |
| [重点目標イ] 自主的精神に満ち、自律的に行動できる生徒の育成 | | | | | |
| a ルール遵守の徹底 | ①寮生徒会をはじめとする生徒間の話し合いの活発化 ・月1回の寮生徒運営委員会 | 昨年以上 | ①寮におけるリーダー研修（一泊二日）を実施した。（9月） | A | |

| | | | | | |
|-------------------------|---|------------------|---|---|---|
| | <p>新リーダー研修会の実施（寮運営委員対象、1泊2日）</p> <p>新寮生大会を2年ぶりに実施した。</p> <p>新各委員会のマニフェスト公表、実践</p> <p>②生徒生活安全委員会の活動の活性化と服装容儀指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年10回の各種委員会 ・年4回の服装容儀指導 | 昨年並 | ②寮生大会（6月・11月）を実施して寮内の問題について協議 | B | B |
| | | 期間中ゼロ 目標の達成 | ③新各委員会の合同キャンペーン（スーパーゼロ週間）を実施し、寮生の意識の向上を図った。（12月） | B | |
| | | 昨年並 | ④生徒会活動 | B | |
| b 生徒に任せ る場の設定 | <p>①寮の各種委員会の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の継続実践に加えて、当事者だけではない寮長等のリーダーの責任を問う指導の実践。 <p>新各委員会のマニフェスト公表、実践 （自分の任期期間にやり遂げたい内容）</p> <p>新寮生大会を2年ぶりに実施した。</p> <p>新地域の方による講話</p> <p>②生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会（部活動の精選について） ・部活動生集会を7月までに2回実施 ・前期生集会、後期生集会の実施 ・歓迎遠足（わらじ遠足）行き先についてクラス討議の実施 | 学期1回開 催 | ①寮の各種委員会の活動 ア) 新土曜の夜にファミリー学習会を実施。 | B | |
| | | 定例化 | イ) 新土曜の夜に先輩講座を実施。 | B | |
| | | 定例化 | ウ) 新休日の自主活動の時間を利用した委員長会の開催。 | C | |
| | | 適宜開催 | エ) 課題や問題の対応・解決について組織（学年の班長会など）で考えさせる場の設定。 | C | |
| | | 昨年並 | ②生徒による学校行事運営の機会を作っている。 | A | |
| c 保護者を巻 き込んだ生徒 指導 | <p>①保護者の寮宿泊体験</p> <p>保護者の寮宿泊体験を5・6月に実施(参加・17世帯)</p> <p>②・生徒・職員・保護者からなる「寮運営委員会(仮称)」の設置について役員会で提案</p> <p>③母親委員会や生徒指導委員会による女子教育や、性教育、進路指導への協力について役員会で提案</p> <p>④12月に学校ホームページの五ヶ瀬ブログに生徒指導部だよりを掲載</p> | 昨年並 | ① 保護者主催による学年親睦会（キャンプ、栄養会）を実施している。 1年、2年、3年各1回実施 | A | |
| | | 1年生15件 他学年30件 | ②保護者の寮宿泊体験の拡大 6月：1年生対象、7～11月：全学年対象 →1年生9件、他学年11件 計20件 | C | |
| | | 各学年1回以 上の開催 | ③5・4年保護者による進路指導 | B | |

| | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|--|---|---|
| | <p>新 5年生保護者による進路指導</p> <p>新 1年生の保護者主催のキャンプ</p> <p>①PTA活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAバザー、母親喫茶室の開催（フォレ祭時） ・益金¥82,351（町社会福祉協議会に寄付） ・持久走大会での3年保護者による「ぜんざい」準備・調理・配膳 <p>新 全国中高一貫教育における大会補助</p> | 昨年並 | <p>④PTA活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAバザー、母親喫茶室の開催（フォレ祭時） ・益金¥76,520（町社会福祉協議会に寄付） ・ファミリーミーティングの実施。 ・持久走大会での3年保護者による「ぜんざい」の準備・調理・配膳 | B | |
| [重点目標ウ] 心身ともに健康な生徒の育成 | | | | | |
| a 心身の疾患の予防 | <p>①保健指導の充実</p> <p>検診後の治療の推進</p> <p>内科・・・100% 眼科・・・56%</p> <p>耳鼻科・・・39% 歯科・・・55%</p> <p>う歯治療率・・・56%</p> <p>新 保護者の協力による歯の健康に関する取り組み</p> <p>掲示物による指導、おやつ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行（年11回発行） ・保健給食委員における手洗い、うがい指導 ・健康管理に関する意識調査の実施と啓発 | 昨年以上の組織的取り組み | <p>①カウンセラーの定期的学校訪問を実施している。（学校問題解決支援事業のサポートチーム派遣を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数7回。職員研修1回 | B | B |
| | | | ②教育相談委員会を定例化（週一回）した。 | B | |
| | | 昨年並 | ③保健室便りを発行している。 | A | |
| | | 状況に応じた計画策定と完全実施 | ④保健指導の充実 | A | |
| | | 行事ごとの完全実施 | ア) 感染症流行期における集団、個別指導 検温の実施、教室・寮の換気、健康観察 | A | |
| | | 昨年並 | イ) 行事前の健康相談活動の実施 | A | |
| | ⑤保護者との連携 | B | | | |
| | <p>検診後の治療の推進</p> <p>内科・・・100% 眼科・・・33%</p> <p>耳鼻科・・・41% 歯科・・・33%</p> | | | | |
| b 食育の充実 | ①給食指導を通じた基本的な生活習慣の確立とマナーの習得 | 昨年並 | ①栄養士便りを発行している。 | A | |
| | | | 月1回 | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------|--|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・前期生（1，2，3年）クラス単位による食前・後のあいさつ指導の実施 ・前期生の給食当番活動の実施 ・残食調査（年2回実施） 結果残菜0 ・保健給食委員による手洗い、うがい指導 ・保健給食委員による台ふきの励行 ・ファミリー厨房勤労体験の事前指導（食事を作る人へのマナー等 年33回） | 昨年以上の取り組み | ②給食指導を通じた基本的な生活習慣の確立とマナーの習得 <ul style="list-style-type: none"> ・前期生（1，2，3年）クラス単位による食前・後のあいさつ指導の実施 ・残食調査（年2回実施） 結果残菜0 ・保健給食委員による手洗い、うがい指導 ・保健給食委員による台ふきの励行 ・ファミリー厨房勤労体験の事前指導（食事を作る人へのマナー等 年24回） →残り9班インフルエンザ流行のため未実施 | C | |
| c 保護者との連携による健康管理 | | 昨年以上の取り組み | ①保健室便り、栄養士便りを発行している。 ②学級通信、学校通信での健康管理意識の啓発を行っている。 ③ 新 新入生保護者対象の給食試食会を実施し、栄養バランスのとれた食事の紹介をしている。 | A | |
| [重点目標工] より有効な指導のあり方の研究 | | | | | |
| a 六年間を見通した指導内容・方法の研究の推進 | | 全教科、年2回の開催 | ①教育委員会の指導主事等を招聘し、全教科授業公開を行い指導力向上に努めている。 | B | B |
| | | 6年間の指導の改善と充実を目指した指導計画の作成 | ②六年間の指導内容に関して、つまづきやすい点についての手立て、後期生になって伸びるための手立て、副教材の効果的な活用などについて各教科で協議しまとめた。 新 このことにより、本校の指導上の問題点がより明確になった。 | B | |
| b 寮教育やフォレストピア学習の実践と研究 | | 新科目の設定と充実した教育内容の実施 | ①フォレストピア学習は自然観察Ⅰと環境科学Ⅰを併せて新「環境科学Ⅰ」とし、工学分野の充実を図るために「数理工学Ⅰ」を立ち上げ、実践・研究した。 新 生徒たちの進路や興味関心に応じた研究内容となり、意欲を喚起することにつながった。 | B | |
| | | 男女別に1回実施 | ② 新 前期生男子によるレクリエーションや集会等を仕掛け、異学年の交流やミドルリーダーの発掘・育成を図った。→男子のみ1回実施 | C | |

| | | | | | |
|--------------------------------|--|------------------------|---|---|---|
| c 研修センター等との連携による研究の推進 | | 全教科、年2回の開催 | ①教育委員会の指導主事等を招聘し、全教科授業公開を行い指導力向上に努めている。 | B | |
| [重点目標] 保護者、地域と連携した学校づくり | | | | | |
| a 保護者、地域への積極的な情報提供 | ①学校からの連絡内容の充実と効果的な提示 ・学校通信 月1回、年合計12回発行 ・各学年通信の充実 ・PTA会長による「PTAだより」を年3回発行 新HP内に公式ブログを開設 更新回数・・・138回 ②寮通信（月1回）の発行 ・寮通信を月1回の発行 新寮通信以外に年間5回、寮での生徒一人一人の様子を書いた「寮通知表」を保護者に発信。（健康面・食事面・学習面等が主な内容） | 学校便り月1回発送 HPのリニューアル | ①毎月1回校長通信（一点一画）、寮通信、学級通信、前期生通信等で保護者への情報提供を実施している。 ②今年度から校長からメール通信（池内の胸の内）という形態で希望する保護者へ週一回程度の割合で生徒の様子等を配信している。 ③学校ホームページの充実を図り、従来より更新や内容変更がしやすくなった。 ④町内有線放送を利用して、学校行事等をお知らせしている。 | B | B |
| | | 各学年5回発行 | ⑤寮通信に加え、年5回の「学年便り」を発行し、生徒一人一人の寮での様子（健康・生活・食事・学習など）について伝えている。 | A | |
| | | 随時 | ⑥寮行事の「五ヶ瀬ブログ」への掲載 | B | |
| | | 1年生15件 他学年30件 | ⑦保護者宿泊体験の拡大 | C | |
| b 地域の教育資源の有効活用 | ①生徒の地域行事への参加 ・太鼓部（地域行事参加5回、慰問1回） ・神楽部（地域行事参加2回） 新3年生の祇園神社の祭り（お祇園さん）への参加 ・町駅伝大会96名参加（生徒単独8チーム） ・祇園山開き、植樹、室野神楽、荒踊り ②フォレストピア学習による地域講師との交流 ・生徒のお礼を書いた色紙を講師に贈呈（全講師に贈呈） | 昨年並 | ①生徒の地域行事への参加 ・太鼓部（地域行事参加3回） ・神楽部（地域行事参加3回） 3年生の祇園神社の祭り（お祇園さん）への参加 ・町駅伝大会82名参加（生徒単独10チーム） ・祇園山開き、植樹、室野神楽、荒踊り | B | |
| | | 昨年並 | ②フォレストピア学習による地域講師との交流 ・生徒のお礼を書いた色紙や感想を講師に贈呈 | B | |

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--|---|---|
| | | 年1回2名 | ③寮のリーダー研修会の講話における講師の招聘 佐藤成志さん、興柁瞳さん（9/25・26実施） | A | |
| [重点目標カ] 生徒募集戦略の充実 | | | | | |
| a 広報活動の工夫・改善 | ①保護者向け地区別学校説明会・・・参加者130名 ②新学校向け地区別学校説明会・・・参加200校 （一昨年度まで小学校訪問） ③新小学校長全体会での説明 ④フォレストピア発表会 参加者約120名 ⑤大型商業施設での展示発表会 宮崎市：2日間、都城市：1日間 ⑥学校説明会（オープンキャンパス）・・・参加者数130名 新高千穂の祭りでの本校ブース開設（1日） ⑦テレビ、新聞等への積極的な情報提供 依頼しての新聞への掲載 12回 テレビ放映 3回 ⑧HPの充実 更新が不十分であった。 | 昨年以上 | ①小学校教諭対象説明会（11会場） ・・・参加校168校 | B | B |
| | | 昨年以上 | ②保護者対象説明会（9会場） ・・・参加者141名 | A | |
| | | 3会場 | ③大型商業施設（宮崎市、延岡市、都城市）での 展示発表会の実施・・・見学者約1830名 | A | |
| | | 35校以上 | ④北諸県地区小学校訪問・・・38校 | A | |
| | | 昨年並 | ⑤小学校長全体会での説明 | A | |
| | | 昨年以上 | ⑥学校説明会（オープンキャンパス） ・・・参加者149家族494名 | A | |
| | | 昨年以上 | ⑦テレビ、新聞等への積極的な情報提供 ・・・8回 | B | |
| | | 昨年並 | ⑧テレビ放映・・・4回 | A | |
| b 各種大会への積極的参加 | ①体育部、文化部の大会成績の向上 体育部前期生37（第1位および優勝18） 体育部後期生6（第1位及び優勝0） 文化部前期生21（最優秀・優勝・金賞5） 文化部後期生41（第1位・優勝・特選15） | 昨年並 | ①体育部、文化部の大会成績 ア 体育部 前期生14（第1位及び優勝7） 後期生 5（第1位1） イ 文化部 前期生 6（優勝1） グレッエンピアノコンクール全国大会 ・・・優勝 NHKの合唱コンクールへの初参加 ・・・銀賞 中学生創造アイデアロボットコンテスト ・・・九州大会出場 後期生26（第1位5・最優秀1） 県高校総文祭 神楽部・・・最優秀 県高校美術・実技コンクール・・・最優秀 NHK全国音楽コンクール | B | |

| | | | | |
|-------------------------|---|-----|--|---|
| | | | ・・・・全国トップ10 | |
| c 生徒作品の 応募・投稿の 促進 | ②新聞投稿、ラジオ作文、論文・弁論コンクールへの応募 新聞掲載5名、ラジオ作文30名（50名応募）、作文・ 論文入賞者19名（300名応募） ☆県最優秀レベルの受賞者数・・・・3名 理科関係コンクールの主な入賞数 16名 ☆県最優秀レベルの受賞者数・・・・1名 | 昨年並 | ②書道、短歌、作文等での入選 ○県高校席上揮毫大会 団体1位 個人1年1位 2年1位 3年1位 ○全国高校化学グランプリ国際科学オリンピック 候補（全国トップ20） ○青少年の主張宮崎大会・・・・優秀賞 | A |